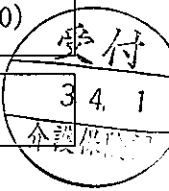


事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月22日 (18:30 ~ 19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8名



◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	6人	1人	1人	14人

前回の改善計画
 ①利用者個々のニーズを職員間で話し合い、意見をとりまとめた一覧表を作り、各職員が確認する。②意識することで、共通認識を図り、ニーズに応じた支援をすすめる。③定例会議にて、ニーズに関する実行状況を話し合うことで想いに副った支援になっているのか、検証と評価を行う。④モニタリングの中で新たなニーズがあれば、利用者本人や家族に確認し、加筆・修正を行うなどPDCAサイクルを意識して、取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ①利用者個々のニーズに関しては、本人や家族からのニーズを職員間で話し合い、連絡ノートに記載することで共通の認識が図れるように努めたが、その意見を一覧表にするまでには至らなかった。②定例会議を開催する機会が少なく、検証するまでには至っておらず、評価も行うことができなかった。③PDCAサイクルの取組み方を理解しておらず、意識した取組みはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	8	4	2	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	5	2	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	11	2	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	5	5	4	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①新規利用者については、職員が仲介役となり他利用者と一緒に取り組んだり関わったりすることで、不安にならないように努めた。また、想いを傾聴し、共感することで不安を取り除けるように心がけた。②利用開始前に得た情報や新たに得た情報は連絡ノートに記載したり、日々のミーティングでも伝達したりしている。③自分で意思表示できる利用者については、想いに沿うように支援を行った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ①新規利用開始前に職員全員が揃ってミーティングを行うことは難しく、情報の共有ができていなかったり、伝わってなかったりしたこともあった。②不安を取り除くため、コミュニケーションを図るように心がけているが、支援が多岐にわたり、時間が持てないこともあった。③家族や介護者と出会う機会が少なく、必要としている支援を把握することができないこともあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ①職員間での情報共有については、連絡ノートに記載するとともに、午前と午後にミーティングの時間を設け、伝達する。②利用者個々のニーズを一覧表にし、可視化することで職員への意識付けを図り、ニーズに応じた支援を行う。③新規利用者については、職員が橋渡しとなり、他利用者と馴染めるような雰囲気を作り、不安を取り除くようにゆっくりと関わる時間が持つように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年10月22日(18:30～19:30)
2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	5人	14人

前回の改善計画	①利用者個々の「したいこと」と「目標」を理解、把握するため、居宅サービス計画書(2)の内容を目通し、確認する。②計画書(2)に関して、不明な点や質問があれば、介護支援専門員に尋ねる。③意思疎通が適う利用者には計画書(2)に基づいて、サービス利用時に抱えている想いや気持ちを確認する。④定例会議にて、各職員が聞き出した利用者の想いの擦り合わせを行うとともに「目標」の実行や実現状況を確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	①居宅サービス計画書(2)の内容について目通しは行った。②計画書は確認したが、その場だけの支援になっていることもあり、継続できていない。③意思疎通が適う利用者については、抱えている想いを話せるような雰囲気作りに努め、確認できたが、自分の想いが伝えられない利用者については、理解が難しく確認することができなかった。④確認できた利用者の想いについては、日々のミーティングで話し合えたが定例会議では時間が持たず、擦り合わせを行うことはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	4	5	5	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	6	4	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	6	6	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	2	6	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用者本人や家族の要望などは生活状況を踏まえたうえで、日々の関わりや支援を通じて、対応することができた。支援の実行や進捗状況については、日々のミーティングで伝達し確認を行った。②居宅サービス計画書(2)の内容を目通しすることで、利用者の「したいこと」や「目標」をより深く理解することができた。③すぐに実践できた内容については、日々のミーティングで振り返ることもできた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①想いを伝えられなかったり定まらない利用者については、「したいこと」や「目標」が見えず、その場しのぎの支援になることがあった。②利用者の日々の暮らしを支えることに精一杯で、一人ひとりの想いをじっくりと聞き取る時間が持たなかった。また聞き取れる利用者が偏っており、他の利用者を後回しにしていた。③本人と家族の思いが異なり、適正な支援ができないこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①引き続き、定例会議にて、各職員が聞き出した利用者の想いの擦り合わせを行うとともに「目標」の実行や実現状況を確認する。②聞き出した利用者の想いについては、個人別ノートを作成し、したことに加え、実行できたことも記載することで、実行状況を職員間で共有する。③すべての利用者の想いを聞き取れるように、日々の関わりの中で常に意識しながら会話する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月25日 (18:30 ~ 20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	6人	14人

前回の改善計画

①「以前の暮らし方」の10個以上の把握するために利用事前面接記録を読み返す。②情報として、不十分な箇所に関しては、利用者担当職員を中心にサービス利用時や家族から世間話や当時の社会情勢などを交えて、聞き出す。③聞きだした情報に関しては、当日、あるいは翌日のミーティングで報告する。また、利用事前面接記録に追記するとともに連絡ノートに記載する。④共通認識を図るため、定例会議で記載内容の振り返りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

①利用時事前面接記録を読み返すことで「以前の暮らし方」をより確認することができた。②コロナ禍の中、家族に話を聞く機会が少なく、新たな情報を得ることは難しかった。③利用者本人や家族から得た情報に関しては、連絡ノートに記載したり、日々のミーティングで報告しているが、利用事前面接記録への追記はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	7	6	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基本的な介護ができていますか?	0	12	2	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	8	3	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	13	1	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	4	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①食事・入浴・排泄等の基本的な介護については、利用者の状態にあわせて現存機能を活用した支援に取り組むことができた。②利用者の日常の様子を把握し気になることがあれば、看護師や他職員に言葉をかけ情報を共有している。③利用事前面接記録に加え、日々の関わりの中でこれまでの生活歴などの情報を得るように努めた。また、得た情報については連絡ノートに記載したり日々のミーティングで伝達し、情報共有に努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①業務優先になってしまい、利用者が自分でできることまで支援していることがあった。②疾病や障害から想いを伝えられない利用者については、十分に想いをくみとることができず、職員の想いで支援を行っていることがある。また、多岐にわたる支援に追われ、ゆっくりと関わる時間が持てなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①利用者の現存機能を職員全員が把握し、できない部分を支援するように取り組む。②支援の統一を図るため、連絡ノートへの記載に加え、職員同士で確認し合える雰囲気づくりに努める。③疾病や障害により想いを伝えられない利用者については、表情やしぐさを確認しながら会話をすすめ、抱えている想いの把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年10月25日(18:30 ~ 20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	6人	14人

前回の改善計画	
①利用者担当職員毎に聞き出した「以前の暮らし方」をもとに生活スタイルや直接関わっていない時間帯の過ごし方、人間関係について、聞き出す。②聞き出した情報はミーティングで報告するとともに連絡ノートへの記載や介護日誌に inputs する。③本人と家族・介護者や地域との関係が切れないように聞き出した情報をもとに定例会議やサービス担当者会議などで話し合い、必要に応じて、居宅サービス計画書(2)を見直し、共通認識を図る。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①独り暮らしの利用者も多く、また家族との関わりも少なかったため、事業所以外での生活スタイルを把握することは難しかった。②新たに得た情報については、日々のミーティングで報告したり、連絡ノートに記載したりしたが、定例会議で話し合う時間が持てず、共通認識に至っているかは不明である。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	7	4	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	4	6	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	6	6	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	3	9	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①送迎時に家族と話せる時には、自宅での様子や困りごとがないかなどの聞き取りを行った。②独り暮らしで家族が遠方の利用者については随時連絡し、訪問時や事業所での様子を伝えている。③本人や家族に必要な資源があれば提案し、希望すれば活用できるように支援を行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①本人の今までの生活スタイルや人間関係の把握が不十分であるため、今の暮らしに必要な社会資源が十分に把握できていない。②新型コロナウイルス感染拡大の影響で地域行事の中止が相次ぎ、また外出する機会も減ったため、今までのような地域との関係を保つことはできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①送迎時や訪問時に直接関わっていない時間帯の過ごし方や人間関係について聞き出す。②引き続き聞き出した情報については、日々のミーティングで報告するとともに連絡ノートに記載し、共通認識を図る。③地域資源の一覧表を作成し、利用者の暮らしに必要な資源の把握に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年10月25日(18:30 ~ 20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	1人	1人	14人

前回の改善計画	①日々の関わりの中で気づいた利用者の「変化」はミーティング時に情報発信するとともに連絡ノートに記載する。②情報発信時に不在の職員は連絡ノートの記載内容を確認するとともに捉え間違いのないように他職員に口頭で確認する。③記載内容に関して、定例会議で振り返り、各職員への意識化を図る。④各職員への意識化と共通認識を図ることで、その日、その時の本人の状態やニーズに合わせた柔軟な支援の実現につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	①気づいた利用者の「変化」については、連絡ノートに記載し、日々のミーティングで伝達することで、情報の共有を図った。②情報発信時に不在の職員には、後日口頭で伝えることにより捉え間違いがないように心がけたが、不十分なこともあった。③記載内容の振り返りについては、日々のミーティングでは伝達できているが、定例会議では他の議題に時間がかかっていることもあり、できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	4	5	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	0	2	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	11	2	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	13	0	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①本人や家族のニーズに応じて可能な限り送迎時間の調整、訪問、外出支援を行っている。②本人の変化について、外面的に気が付いた事や関わりの中で内面的に気が付いた事は、都度連絡ノートに記載したり、日々のミーティングにて伝達したりしている。③バイタルサインや表情、言動などから本人の状態変化に気づいた時には、看護師、介護職員、家族、介護支援専門員とが連携をとり、適切に対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①連絡ノートへの記載や口頭で説明し、利用者支援に捉え間違いがないように努めたが、統一した支援ができていないこともあった。②その時変化に気づき、対応しているが、ミーティングまでは行えず、情報の共有ができていないこともあった。③日常生活において、利用者の「できないこと」に目が向いてしまい、過剰な支援を行っていることがあった。④地域資源を積極的に利用はしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①日々の関わりの中で気づいた利用者の「変化」については、気づいた時にすぐに記載できるように検温表を活用する。また業務終了時に検温表を確認し、連絡ノートに転記する。②「小規模多機能型居宅介護」の利用のあり方に関して、職員間で学ぶ場を設け、理解を深めた上で利用者本人の状態やニーズに合わせた柔軟な支援の実現につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月30日 (18:30 ~ 19:30)

6. 連携・協働

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	3人	9人	14人

前回の改善計画	①広報誌や掲示板的掲示内容に加えて、地域包括支援センターや近隣住民からの情報収集に努め、地域の催しや行事などを利用者に発信する。②利用者が希望する行事や催しがあれば、地域の各種機関・団体に働きかけ、参加調整を行う。③サービス機関との連携については、訪問看護や福祉用具事業者の担当者と日程調整を行い、サービス担当者会議を行う。④引き続き地域交流室の利用を自治会や関係機関に働きかける。
前回の改善計画に対する取組み結果	①新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や感染予防のため、地域包括支援センターや近隣住民からの情報収集はできなかった。②サービス機関との連携についても、十分とは言えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	2	11	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	1	13	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	1	13	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	2	10	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や感染予防の為、地域活動やイベントは行われず、またサービス機関との連携も十分に行えなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①新型コロナウイルスの発生状況を確認しつつ、引き続き、広報誌や掲示板的掲示内容に加えて、地域包括支援センターからの情報収集に努め、地域の催しや行事などを利用者に発信する。②感染予防対策を行いながら、利用者が希望する行事や催しがあれば、地域の各種機関・団体に働きかけ、参加調整を行う。③日程調整を行い、訪問看護や福祉用具事業者とのサービス担当者会議を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月30日 (18:30 ~ 19:30)

7. 運営

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	4人	9人	14人

前回の改善計画
 ①事業所のあり方や運営について、理解が深まるように全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会が作成したパンフレットを参考に定例会議にて、学習する場を設ける。②定例会議にて、事業所のあり方や運営に関する質疑応答や意見交換の場を設ける。③意見や苦情などに対応した場合は内容を連絡ノートに記載し、ミーティングで伝え、1週間後に対策の振り返りを行う。また、定例会議でも説明し、意識化と共通認識を図る。

前回の改善計画に対する取り組み結果
 ①今年度は定例会議を持つ機会が少なく、事業所のあり方や運営に対して意見交換ができなかった。②事業所のあり方や運営について理解を深めるための場を設けることもできなかった。③意見や苦情については、内容を連絡ノートに記載しミーティングで伝達したが、振り返りを行うことはできなかった。また定例会議を持つ機会も少なかったため、説明も不十分で、共通認識を図ることもできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	2	3	9	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	2	5	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	3	6	14
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	1	1	12	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①利用者や家族からの苦情については、ミーティングで話し合ったり、連絡ノートに記載し、改善策を検討したりしている。②支援のあり方や利用者との関わりを職員同士で話したり、また、言葉遣いを注意し合える雰囲気作りに努めたりした。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ①事業所のあり方について、学習したり話し合ったりする機会が持てなかった。また「小規模多機能型居宅介護」におけるサービスが多岐にわたるため、関係職員全員の理解が深まることは難しかった。②新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や感染予防のため、地域と協働した取り組みは行えなかった。③意見や苦情について、改善策は検討したが振り返ることはできなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ①支援に対する考え方や方向性の統一を図るため、日々のミーティングで話し合える時間を設ける。②引き続き定例会議にて、事業所のあり方や運営に関する質疑応答や意見交換の場を設ける。③事業所内外で地域行事が催される時には、感染予防対策を行いながら、地域住民との交流を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月13日 (18:30 ~ 20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	6人	4人	14人

前回の改善計画	①ヒヤリ・ハットする場面を見たり、感じたりした時に報告書を記載し、他職員との情報共有、共通認識につながるよう昼食休憩前やミーティング前など午前と午後に記載をするための時間を設ける。②記載内容をもとにミーティングなどで話し合い、予防対策を検討し、実行する。③1週間後のミーティングや申し送りの場で予防対策の有効性について検証する。④改善や変更した対応策は連絡ノートに記載し、ミーティングで報告する。
前回の改善計画に対する取組み結果	①ヒヤリ・ハットする場面を見たり、感じたりした時に報告書への記載ができず、他職員との情報共有はできなかった。②午前と午後に記載する時間を設けるように努めたが、業務優先になってしまうなど時間が持たず、記載につながらなかった。③ヒヤリ・ハットの記載が少ないことから予防対策の検討や有効性の検証には至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	2	5	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	3	9	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	14	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	3	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①事故発生時、報告書に発生状況を記載し、職員間で事故原因や改善策を話し合い、情報共有に努めている。②改善策を実施した後、さらに改善すべき所や再度検討すべき所があれば、その都度ミーティングで伝達したり連絡ノートに記載したりして、支援の統一を図り、再発防止に努めている。③施設内研修が実施される時には、参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や感染予防のため、外部研修や地域連絡会への参加は控えており、参加できていない。②ヒヤリ・ハットする場面が日常化しており、どこまで報告が必要なのか、判断ができにくく、記載に至らなかったり、業務を優先していることで記載することを忘れてしまった。③事故報告書の改善策は実施したが、有効性やさらなる改善策を検討する時間が持たなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①ヒヤリ・ハットする場面が当たり前にならないように、日々のミーティングや定例会議で取り上げ、情報の共有を図る。②ヒヤリ・ハット報告書の記載については、引き続き昼食休憩前やミーティング前に時間を設けて記載をすすめ、共通認識を図る。また、記載内容をもとにミーティングなどで話し合い、予防対策を検討し、実行する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月13日 (18:30 ~ 20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	人	2人	14人

前回の改善計画	①人権意識を高めるため、人権擁護委員会が取り組んでいる不適切なケア・グレーゾーンなケアについて理解を深める場を設ける。②精神的疲労やストレス、利用者から暴言・暴行を受けた時に虐待を引き起こす可能性が高まるため、認知症の利用者には複数の職員で関わるなどストレスを抱え込まない組織作りに努める。③プライバシーを守るため、排泄や入浴介助時の言葉かけや対応に留意し、定例会議の場で実行状況を確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	①不適切なケアについて、理解を深める場として定例会議で時間をもつようにはしていたが、新型コロナウイルス感染予防により定例会議を行わなかった月もあり、理解を深めることはできなかった。②同じ話を繰り返す利用者については複数の職員で関わることで、ストレスを抱え込まない環境作りに努めた。③排泄や入浴時の対応については、職員同士で確認し合い、プライバシー保護に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5	0	1	14
②	虐待は行われていない	9	4	0	1	14
③	プライバシーが守られている	3	7	3	1	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	0	0	13	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	7	0	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①身体拘束や行動の制限はなく、施設内外を自由に行き来している。②入浴時にはプライベートカーテンの使用や時間差で入浴することでプライバシーが守れるように努めている。また、排泄時には利用者の立場に立った言葉かけを行うように心がけている。③精神的疲労により利用者への虐待につながらないように、要望の多い利用者には職員が交代で関わっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①複数の利用者の支援が重なる、「待つ」「座って」とスピーチロックをしてしまっている。②利用者との関わりが長いと馴れ合いになり、不適切な言葉遣いになっていることがある。③業務を優先してしまい、意思疎通が難しい利用者や同じ話を繰り返す利用者を後回しにしていることもある。④成年後見制度については対象利用者がいない為、知識不足であり、また学ぶ場を設けることもなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①言葉による拘束や行動制限に留意し、気付いた時には職員同士で注意し合い、接遇の改善を図る。②意思疎通が難しい利用者や同じ話を繰り返す利用者には、引き続き複数の職員で関わり、ストレスを抱え込まない環境作りに努める。③言葉遣いについては、定例会議で学ぶ時間を設け、場面に沿った言葉遣いができるように努める。	